

受益者の皆さまへ

コモンズ投信株式会社

代表取締役社長兼最高運用責任者 伊井 哲朗

【特別レポート】 株式市場の下落と弊社運用ファンドの下落について

○10 月 25 日の各ファンドの基準価額騰落率(前日比)

	基準価額	前日比	騰落率
コモンズ 30 ファンド	26,802 円	▲896 円	▲3.23%
ザ・2020 ビジョン	14,487 円	▲823 円	▲5.38%
コモンズ 30+しずぎんファンド	12,162 円	▲401 円	▲3.19%

<ご参考>

	10 月 25 日終値	前日比	騰落率
TOPIX(東証一部株価指数)	1600.92	▲51.15	▲3.10%
日経平均株価	21268.73 円	▲822.45 円	▲3.72%
東証マザーズ指数	900.16	▲61.16	▲6.36%

1.本日の市場動向

10 月 25 日の国内株式市場は、前日の NY 株式市場での米中貿易摩擦の長期化が想定以上に世界経済の活動を停滞させるのではないかとの警戒から、ダウ平均やハイテク株中心のナスダック総合指数が大幅下落となり、その流れをうけた東京株式市場は全面安となりました。日経平均株価は前日比 822 円安の▲3.72%、TOPIX(東証株価指数)は前日比 51.15 ポイント安で▲3.10%となり年初来安値を更新しました。

2.コモンズ投信代表取締役社長兼最高運用責任者 伊井 哲朗 からのメッセージ

平素よりコモンズ投信をご愛顧いただき誠にありがとうございます。

10 月に入ってからの国内株式市場は、米中貿易摩擦懸念、貿易摩擦の高まりによる世界的な景気減速懸念、サウジアラビアを中心とした中東情勢不安、米国中間選挙の行方、英国の EU 離脱の不透明感など多くの懸念材料が目を追うごとに増え、本日はその不安が噴出した印象です。

株式市場は弱気ムードが蔓延してきました。しかし、厳選された個別企業への投資を行う当社の各ファンドについては、弱気ではなく買い場が来ていると判断し、丁寧な押し目買いを実践しています。コモンズ 30 ファンド、ザ・2020 ビジョンともに月初に現金比率を 10%程度まで上げていましたので、その資金を活用した押し目買いを行っています。株式投資は、将来の企業価値よりも現在の株価の方が低いと判断すれば投資を行えばよいわけで、現状の多くの企業の株価は企業価値を大きく下回り始めたと考えています。例えば、本日 25 日現在、東証一部に上場している約 2100 社のうち PBR(株価純資産倍率)が 1 倍を割り込んでいる企業が 45%程度になっています。PBR が 1 倍を割っているということは、会社の解散価値よりも株価が安くなっていることを意味しています。株価は上昇も下落も行き過ぎるものですが、業績が好調なのに会社の解散価値よりも株価が低くなっている状態は、明らかに行きすぎです。現在の局面においてコモンズ 30 ファンド、ザ・2020 ビジョンともにこうした割安になった企業への投資を丹念に実践しています。長期投資は現在のような短期的な痛みを乗り越えられることを当社は知っています。

引き続き、当社の各ファンドにご期待ください。

以上

ファンドの費用について

購入時手数料	(コモンズ投信の場合)ありません。 (委託会社が指定した販売会社の場合)販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.24%(消費税込)が上限となっております。
換金時手数料	ありません。
運用管理費(信託報酬) ＜コモンズ 30 ファンドの場合＞ ＜ザ・2020 ビジョン、 コモンズ 30+しずぎんファンド の場合＞	ファンドの純資産総額に年 1.0584%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により低減する仕組みになっています。 ファンドの純資産総額に年 1.2420%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により低減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用・手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として純資産総額の0.108%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料(費用)等の合計額については、保有期間に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

ファンドのリスクについて

ファンドは、国内外の株式など値動きのある証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。投資信託は預貯金と異なります。

※リスク要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ご留意事項

- ◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。
- ◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。
- ◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

金融商品取引業者
関東財務局長(金商)第 2061 号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
コモンズ投信株式会社
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-5
平河町Kビル5階